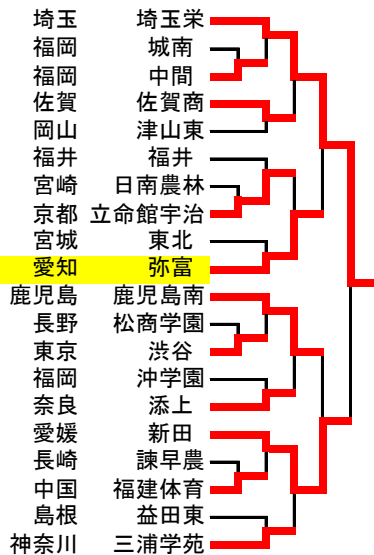


女子団体戦 Dブロック



金鷲旗 高校柔道大会

女子団体 3回戦突破 全国ベスト32

女子は、22日午前8時にスタート。2回戦から登場した女子チームは、4回戦で優勝を収めた埼玉栄と対戦し、惜しくも敗れはしたが、昨年と同様のベスト32入りを果たした。

女子は、22日午前8時にスタート。2回戦から登場した女子チームは、4回戦で優勝を収めた埼玉栄と対戦し、惜しくも敗れはしたが、昨年と同様のベスト32入りを果たした。

抜き勝負で高校の頂点を懸ける平成20年度金鷲旗高校柔道大会が7月21日、福岡市博多区のマリノメッセ福岡で開幕した。

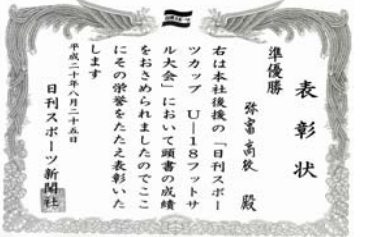
82回の伝統を誇り、昨年度から海外に門戸を開いた大会には、韓国・中国・台湾の男女計9チームを含め、男子346校、女子158校の計504チームが参加。女子は史上最多の出場数となった。

同日夕に行われた開会式では、男子の東海大相模、女子の敬愛が優勝旗を返還。東海大相模の穴井主将が「練習の成果を発揮し、正々堂々と戦うことを誓います」と選手宣誓。

戦績 (対戦順)

4-1 春日井工業
3-1 TaBaSuKo
1-1 岡崎学園U-17
1-1 名古屋オシヤンス

2勝0敗2分



ベストゴールキーパー賞 戸田 慎也 君 南陽東中 3-6

- 弥富高校参加選手
- 西智也 (306)
 - 長谷川祥吾 (306)
 - 田路晴規 (306)
 - 藤井マルコス (306)
 - 森田怜英 (306)
 - 戸田慎也 (306)
 - 峠忠志 (301)
 - 伊藤英司 (203)
 - 山本竜蔵 (104)



準優勝 U18フットサル大会

フットサルの練習を全くしていない急造チーム(他チームはフットサルチーム)が大会に初参加。

3試合終了時点で名古屋オシヤンスが3勝0敗でトップ。しかもブラジル人2名を擁するオシヤンスは総得点19失点0の圧倒的強さ。弥富はこれに勝つしか逆転優勝はなかった。

8月25日、名古屋オシヤンスと対戦し、立ち上がりから激しい攻防となり、ボールを深く

支配で優勢に試合を運ぶオシヤンスに対して、弥富はボール奪取からの速攻で対抗。それが功を奏して前半、田路君のゴールでリードして折り返す。後半オシヤンスの選手の表情には「こんなはずでは…」という焦りの色がありありと浮かびだし、シュートも精度を欠いた。しかし試合もあと残り1分36秒というところでミスから失点。その後必死に点を取りにいくもタイムアウト。

結局、引き分けて2位という結果になった。試合後は参加全チームが贈られた名古屋オシヤンスのレプリカユニフォームを着て記念写真を撮るなど、交流



命を救う! 心肺蘇生法 AED講習会

7月11日(金)に普通科工夫したり色々な場面を運動部代表生徒25名が心臓蘇生法・AED講習会に参加した。講師は海部南部長。講習は海部南部長が中心となり、心肺蘇生法・AED講習会。楽しく取り組むことができた。実際に使用する場面が無いほうが良い体験だが、いざという時に誰かを救うことができればと思う。

はじめに、この季節に気をつけなければならない熱中症についての講義。続いて、心肺蘇生法・AEDの使い方の説明とデモンストレーション。その後、5人グループに分かれて実践。心臓と練習用AEDを使用し、心肺蘇生法を全員が体験した。

はじめは戸惑って動きがぎこちなかったが、一人ひとり体験していきうちに、消防士のアドバイスを受け、

人の役に立てる自分になれたと

「AEDという命を救う電子器具の使い方や、人が倒れている時の対処法などを消防署の方に教えていただいた。今回は訓練ですが、もし現場に遭遇してしまっただけでこの訓練を受けなかった自分はパニック状態ですが、訓練を受けたので少しは人の役に立てる自分になれたと思います。」と感想を述べていた。